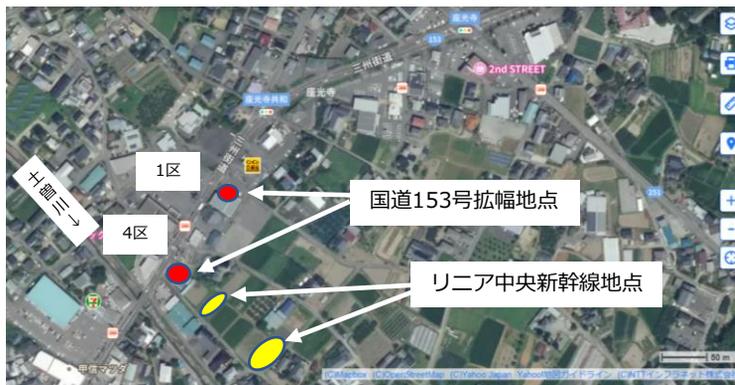


《五郎田遺跡の発掘調査がはじまりました》

長野県埋蔵文化財センターでは、8月から国道153号拡幅工事に伴う地点を、また9月14日からはリニア中央新幹線建設工事に伴う地点の発掘調査をそれぞれにおこなってきました。前者は10月いっぱい、後者は来年の1月まで調査を予定しています。



期間中、大型重機をはじめ、車両が出入りしますので十分ご注意ください。また、調査区域内には危険な場所もありますので、許可なく立ち入らないようにお願いします。発掘の見学をご希望される場合は、事前にそれぞれの担当者までご連絡ください。皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。



《五郎田遺跡リニア中央新幹線地点》

昨年度調査した地区の東西両隣りを調査。西側の地区（A区）は、土曾川^{どそ}に向かって流れる流路跡であることがわかり、おそらくは、国道拡幅地点の1区から続くものと考えられます。すでに埋戻しも終え、調査を終了しています。

東側の地区（B区）は、水田造成時に深く削られており、遺構の遺存状態が悪いものの、多くの遺構と多量の弥生土器・土石器・須恵器・灰釉陶器片が出土しています。今後も遺構調査を進めていきます。どんなお宝が埋まっているか、乞うご期待です。



東側の地区（B区）の調査風景

●五郎田遺跡

土曾川左岸に位置する縄文時代～近世の散布地。南東方向に緩やかに傾斜する地形を基本とし、南西側を土曾川、北東側を西の沢川に画される。

昨年度のリニア関連の調査で、竪穴建物跡31軒（弥生後期3、古墳時代17、古代11）などが確認されている。



《五郎田遺跡国道153号拡幅地点》

調査区を北から1～4地区に区分し、1区と4区の調査を進めています。

1区は、建物の基礎で破壊されている部分がほとんどで、一部に残るかつての水田土壌の下に、摩耗した土器片を含む地層がわずかに分布していました。また、その下位には砂層や礫層のきれいな互層が見られました。これらのことから、ここは河川が存在していたと考えられます。遺構はみつきりませんでした。

4区はこれまでに竪穴建物跡1軒と土坑約50基、溝跡1条がみつかっています。出土した遺物から竪穴建物跡は、平安時代の遺構と考えています。古墳時代の遺物がまとまって出土した土坑もあります。また、同じような形状をした土坑が並ぶ場所もあり、掘立柱建物跡の可能性も考えられます。



1区の様子



4区調査風景



4区調査風景



土坑の中からみつかった土器の様子

長野県埋蔵文化財センター 飯田支所

〒395-0151 飯田市北方297-5

電話：0265-49-0736

メール：maibun@naganobunka.or.jp

H P：<https://naganomaibun.or.jp>

国道153号拡幅 担当：長谷川桂子

リニア中央新幹線 担当：上田典男

両角 太一

支援業務 (株)シン技術コンサル

中西孝和/菊池康一郎/浅間 陽

携帯：080-7834-9422



携帯：080-9560-1354